

歴史的背景

敷地の変遷

・北田町（現在地）

江戸幕府ができる少し前の天正 18 年頃（1590）に徳川家康の要地となったことで北田町に三島代官所が設立されました。その後、宝暦の頃（1760 年前後）に三島代官所は廃止され、葦山代官の陣屋として出張所のような施設となり、代官業務の一部が継続されました。また、幕末の頃（1860 年前後）には、江川代官が組織した農兵の調練場の一つが置かれていました。

大政奉還によって江戸幕府が終焉し、明治政府が管理するころには、現在地は荒地となっていました。明治 12 年に三島宿内の有志の寄附によって小学校が作られました。その後、時期は不明ですが、二代目の庁舎が中央町から移転し、明治 37 年に再び中央町に移転するまでの間は、小学校と庁舎が併設されていたとも考えられます。

昭和 5 年には、小学校が北伊豆震災で被害を受けたことから、現在の東小学校に移り、南本町（現在の社会福祉会館付近）にあった町役場が、昭和 7 年にこの北田町に移転され、昭和 35 年に建て替えられて現在に至ります。

三島学校校舎



現在も本庁舎敷地内にある農兵調練場石碑



出典：三島市郷土資料館 編集発行「みしま町」、「きたうえ村」、「にしきだ村」、「なかざと村」

・南二日町広場

大正 8 年に三島商業学校（現三島南高校）が設置され、平成 13 年の高校の移転に伴い、現在の広場が設置されました。

三島南高校校舎



現在の南二日町広場



出典：文化財年報、市ホームページ

発掘調査の必要性

両候補地とも歴史ある場所となっており、敷地内に文化財が埋まっている可能性があるため、埋蔵文化財の調査対象範囲となっています。工事着手前に発掘調査が必要となり、その結果により、新庁舎整備の工期に影響を及ぼす可能性があります。

- ・北田町（現在地）

遺跡名：三島代官所跡

時代：江戸時代～明治・大正・昭和

- ・南二日町広場

遺跡名：二日町遺跡

時代：弥生～奈良・平安時代